



和歌山市立博物館 ぬり絵 ^{どぐう}「土偶」

縄文時代の土偶(どぐう)を代表する「遮光器(しゃこうき)土偶」は青森県をはじめとする東北地方を中心に分布しています。実は、和歌山市内の縄文遺跡である川辺(かわなべ)遺跡から、遮光器土偶の手の部分が出土しています(右図)。和歌山の縄文時代の人々が、東北地方の文化に触れていたことがわかる、とても興味深い資料です。

